

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成28 年度

[↑ 操作ボタン](#)
講義科目名称 : **パワーアッププラクティス講座Ⅰ（地域コミュニティ編）**授業コード : **80301**

英文科目名称 : ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	演習	2単位	
曜日時限			
前期: 曜無時無			
配当学科・学年			
文1、教育1、人間1、薬2			
担当教員			
村尾 敏彦、小林 未季代、中道 厚子、松原 裕一			

授業テーマ	地域の問題を発見しその解決をめざした企画を立てる力、将来、社会人・市民として求められる基礎力。
講義概要	今日の社会は急速に変化し、知識の賞味期限がこれまでになく早く訪れる時代が到来している。そのような社会にあっては、（過去や現在の研究者の研究成果である「専門知識」を学ぶことはなお大事なことであるが、同時に）自分で課題を探し、それをどのように解決するのか、他人と協働しながら考え抜き実施していく「社会人基礎力」あるいは「ジェネリックスキル」と呼ばれる技能がますます求められるようになってきている。そのため、本講座は、アクティブラーニングとして授業展開し、（１）「考える」ということとはどういうことなのかを改めて考える講義を行うのみならず、（２）実際にグループで考え抜くという経験を得る機会を提供する。より具体的には、本学近隣の地域コミュニティを歩きながら地域の抱える問題を発見し、その解決をめざした企画を作成するため、テキストにあるフォーマットにしたがって具体的な案をグループで企画し、結果を発表する。
到達目標	（１）社会人基礎力、とくに「考える力」とはどのような要素から成り立ち、どうすれば向上させることができるのかが理解できる、（２）「よい」企画とは何かを理解して、それにもとづいて企画を立てることができる、（３）自身の社会人基礎力について評価し、今後どのように向上させていくのか、PDCAできる。
評価方法	（１）授業２日目に提出する課題（２０％）、（２）授業３日目に行うグループ発表（３０％）、（３）個人の小レポート（５０％）
評価基準	企画の評価５原則（関連性・有効性・効率性・インパクト・自立発展性）や他の重要な基準を理解し、それらを満たす企画を立て、ふりかえりにおいて自身の学びについて記述できる。（可）企画の評価５原則（関連性・有効性・効率性・インパクト・自立発展性）や他の重要な基準を理解し、それらを満たす企画を立て、ふりかえりにおいて自身の学びについて記述し、さらに自分自身の社会人基礎力について評価し、今後どのようにそれを伸ばしていくのか、明確な目標を立てることができる。（優・秀）
テキスト	受講者には文部科学省「平成２０年度戦略的大学連携支援事業」選定「実践力のある地域人材の輩出」プロジェクト共同キャリア教育・FD委員会編（２００９）『パワーアップ・プラクティス講座（地域コミュニティ編）ワークブック こんなまちほしかってん』を無料配布する。
参考書	必要に応じて紹介する。
履修上の注意	（１）本講座は集中講座として開講され、６月４日（土）に１コマ目から５コマ目を、６月１１日（土）に６コマ目から１０コマ目を、６月１８日（土）に１１コマ目から１５コマ目を実施する。 （２）本講座には定員がある。定員を超過した場合、抽選を行うことがある。
準備学習	１日目の最後に課題を出すので、自宅で準備して、２日目に提出してください。
オフィスアワー等	授業中ないしは終了時に質問に対応する。または各教員の指定しているオフィスアワーに個人研究室で質問に対応する。
備考・メッセージ	（１）本講座は、講義もあるが、グループワークを軸として展開されるものである。グループに対して一人ひとりが持つ役割や責任を意識しながら講座に臨んでください。（２）本講座にはその発展編として「PP講座ⅠⅡ（思考編）」という講座がある。この講座はさらに論理的思考力を磨くチャンスを提供する目的で開講され、本学も加盟する南大阪地域大学コンソーシアムを構成するさまざまな大学の学生と一緒に学べる科目である。本学の教員も講師陣にはいて指導を担当しているので、ぜひ履修登録することを検討してください（この講座の履修登録については、教務課から毎年秋に掲示がなされるので、それにしたがってください）

授業計画					
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標	
1	演習	中道・松原	オリエンテーション <6月4日>	PP講座全体の目標を理解できる	
2	演習	中道・松原	班分け・アイスブレイク<6月4日>	グループ作業の準備を行う	
3	演習	中道・松原	外部講師による「滝谷不動駅近隣地域におけるまちづくりの諸活動」と題するレクチャー<6月4日>	滝谷不動駅近隣地域を理解する	
4	演習	中道・松原	まちあるき<6月4日>	「まちあるき」をしてまちの課題を発見する	
5	演習	中道・松原	まちあるき・マッピング<6月4日>	まちあるき」をしてまちの課題を発見する	
6	演習	村尾・小林	徹底分析シートへの記入<6月11日>	課題について調べた内容をグループ内で語り合い共有できる	
7	演習	村尾・小林	徹底分析シートへの記入<6月11日>	課題を掘り下げて分析することができる	

8	演習	村尾・小林	企画シートへの記入<6月11日>	企画を発案することができる		
9	演習	村尾・小林	「考える」とは何か」と題するレクチャー<6月11日>	「考える」ことを分析的に捉えることができる		
10	演習	村尾・小林	プレゼンテーションシートへの記入・発表<6月11日>	企画案を発表することができる		
11	演習	中道・村尾・小林・松原	「パワーポイントの作成のコツ」と題するミニレクチャー・パワーポイント作成<6月18日>	パワーポイントを作成できる		
12	演習	中道・村尾・小林・松原	発表練習会・教員コメントの付与・<6月18日>	「よい」企画とはなにか」を理解する		
13	演習	中道・村尾・小林・松原	パワーポイントの修正<6月18日>	発表するパワーポイントをシェーブアップできる。		
14	演習	中道・村尾・小林・松原	最終発表会（外部講師によるコメントを含む）<6月18日>	最終発表を行い、評価内容を理解する。		
15	演習	中道・村尾・小林・松原	ふりかえりセッション<6月18日>	授業内容と自身の活動をふりかえり、文章化することができる		

授業方法					
	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	演習	教室	4	パソコンなどを活用する	90分×15

閉じる